

令和6年度

木頭小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 個に応じた指導を行い、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせ、主体的に学習する力を伸ばすための指導の実践。
- 話し合い活動を充実させ、自分の考えについて、根拠を明らかにしながら表現できる児童の育成。

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 宮本 拓海

委員
校長 松浦 和也
6年担任 村山 恵梨華
1年担任 林 和泉
養護助教諭 岸本 ななみ

教頭 水口 裕一
2年担任 中田 佳奈
特支援担任 大西 正文

校長

松浦 和也

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた学習課題に素直に取り組んでいる児童が多い。 ●基礎的・基本的な知識は定着しつつあるが、実生活での活用がまだまだ不十分である。	・一人一人が自身の学習課題を把握し、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。 ・基礎的・基本的な知識を実生活の中でも活用できる。	・タブレットや簡単な計算問題に繰り返し挑戦させ、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 ・日々の作文指導や新聞の視写等を通して正しい文章を書くことができるような活動を積極的に取り入れる。			

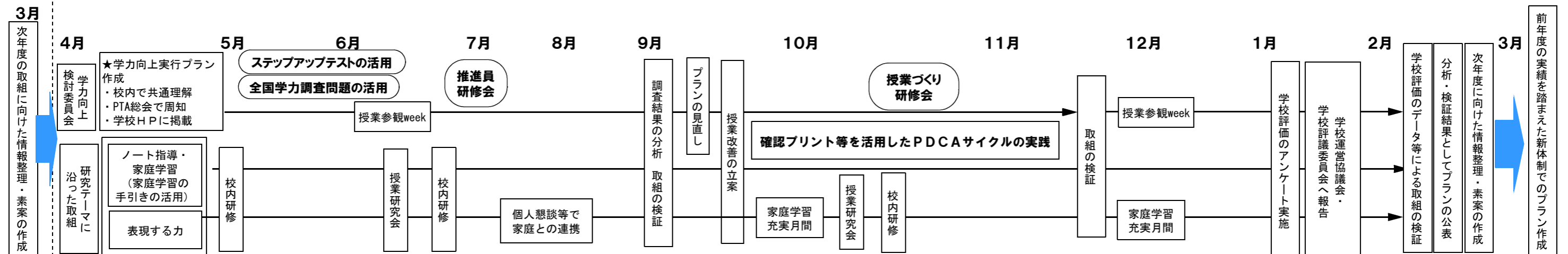
(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○積極的に自分の思いや考えを表現することができる。 ●相手が伝えたいことをくみ取って、自分の意見や考えを整理して伝えることが苦手な児童が多い。	・聞かれていることを正しくとらえ、自分の意見や考えを表現することができる。	・問題文の大切な所に下線を引かせるなど、聞かれていることを意識できるようにする。 ・タブレットや、ホワイトボード、マインドマップ等を活用し、自分の考えを明確に伝えられるような工夫を取り入れる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対しては、素直に一生懸命取り組むことができる。 ●自分で課題を見付け、課題解決に向けて取り組むことが苦手である。	・自らの学習を調整しながら、主体的に取り組むことができる。 ・多様な意見を取り入れて課題解決に向けて、粘り強く取り組むことができる。	・めあてとまとめを意識できる授業展開を心がけ、学習の活性化と子どもの学習意欲の向上に努める。 ・ふるさと学習を軸に、自ら課題を見付け、追究する楽しさを知る機会を設ける。			

令和6年度 学力向上ロードマップ



次年度
前年度の